韮崎工高新聞
6月号
発行所
韮崎工業高校
新聞委員会

レスリング団体優勝 インターハイへ

レスリング競技は5月12日から14日まで、小瀬体育館で行われた。

学校対抗得点種目の団体戦で農林高校と7対0、甲府城西高校と4対3で勝ち、リーグ戦全勝で優勝した。その結果、学校対抗得点3点を獲得した。

団体戦と個人フリースタイルでインターハイ予選を兼ねていて、団体と個人5階級、51キロ級の中村真翔さん（1年）、55キロ級の鈴木飛来さん（1年）、71キロ級の長谷川虎次郎（2年）、80キロ級の島袋希理瑠さん（2年）、92キロ級の北脇香さん（3年）がインターハイ出場を決めた。

部長の大村幸誠さん（3年）は「今回の総体では結果は良かったものの、ギリギリの試合だった。主に2年生の活躍で危ない場面を回避し、勝つことができた」と振り返った。インターハイについては「目標は団体戦上位入賞と各個人が成長すること。3年生は最後なので、悔いの残らないように戦いたい。1戦1戦、手を抜かず、大切にしていき、全員が一丸となって挑みたい」と抱負を語った。

今年の「北信越総体2021」レスリング競技は8月21日から24日の日程で、福井県のおおい町総合運動公園体育館で行われる。（今村）

甲府城西高校に接戦の末、勝利したレスリング部。写真は65キロ級の本名一晟選手。（写真は写真部・吉澤愛玖）

第73回県高校総体

学校対抗得点19位に終わる

第73回山梨県高等学校総合体育大会春季大会が5月12から14日にかけて、小瀬スポーツ公園を中心とした各会場で行われた。本校は13競技に出場し、男子学校対抗得点は7点で19位と一昨年の27位を大きく上回る結果となった。

また、総体の結果から、レスリング部は団体と個人フリースタイル5階級で全国高校総体（インターハイ）出場を決めた。

選手のコメント

○中村真翔（1年）

「高校に入り、中学とは違う環境で、慣れない部分もあったけれど、予選で勝てたことは嬉しかった。インターハイでは攻めのあるレスリングで勝ちたい」

○鈴木飛来（1年）

「高校に入り環境が変わり、まだ慣れていない所もあるが、予選で勝った人の分も試合では1年生らしく攻めのあるレスリングで頑張りたい」

○長谷川虎次郎（2年）

「県総体では団体、個人と優勝できて良かった。インターハイでは団体、個人ともに優勝目指して頑張りたい。応援お願いします」

○島袋希理瑠（2年）

「去年は県総体がなく、高校に入って初めての総体で少し不安だったが、個人、団体ともに優勝できてホッとしている。インターハイでは表彰台を目指し頑張りたい」

○北脇香（3年）

「総体では勝たないといけないという気持ちがあったので、勝てて良かった。インターハイでも1つ1つの試合を大事にして優勝を狙いたい」

○榊颯太（2年）

「素直に、しっかりと勝つことができて良かった。減量などもあるが、次の関東大会も優勝して、全国大会に弾みをつけていきたい」

○本名一晟（3年）

「総体では、優勝できたが、まだ技術は完璧ではないので、関東、全国大会では、更に技を磨き悔いの残らないような試合をしたい」

サッカー部

3回戦で惜しくも敗退 ベスト16で1点獲得

サッカー競技は4月24日、29日、5月2日に、長坂総合スポーツ公園ほかで行われ、サッカー部がベスト16に入り、学校対抗得点1点を獲得した。

1回戦、上野原高校に延長戦の末、5対4で勝利し、つづく2回戦も山梨高校と対戦し11対1で勝利した。3回戦は日本航空高校と対戦し0対4で敗れ、ベスト16となった。

部長の浅川京輝さん（3年）は「3回戦で日本航空高校に負けて悔しい結果となった。ベスト8を目標に練習から全力で取り組むことができた。この悔しさを次につなげていきたい」と振り返った。インターハイ予選については「5月29日が初戦となるが、ベスト8を目標に頑張りたい。簡単に勝てる相手ではないので、チーム一丸となり、一戦必勝で良い結果を残したい」と抱負を語った。（坂本）

一蹴りに力をこめるサッカー部員。（写真は写真部・久米田萌）

剣道部

マスクでの練習に成果 ベスト8で1点獲得

剣道競技は5月12日、13日、小瀬武道館で行われ、剣道部がベスト8に入り、学校対抗得点1点を獲得した。

団体戦2回戦、甲府第一高校に3対1で勝利し、準々決勝で甲府商業に0対3敗れ、5から8位決定戦に進んだ。結果は甲府工業高校と対戦し1対4で敗れ、7位決定戦で東海大甲府高校と対戦し1対3で敗退し、8位となった。

部長の吉澤勇輝さん（3年）は「総体では目標のベスト8を達成でき、とても良かった。達成できたのはマスクをして日々練習をしてきたことで、精神面が鍛えられたからだと思う。インターハイ予選では総体の時に結果が残せなかった個人戦で、結果を残したいので、各自が気合いを入れて頑張っていきたい」と抱負を語った。（長林）

攻めの姿勢で勝利を勝ち取りにいく吉澤部長。（写真は写真部・吉澤愛玖）

山岳部

自然の中で知識と体力を競う 4位入賞で1点獲得

登山競技は5月12日、14日、御坂山系黒岳で行われ、山岳・スキー部が4位入賞して、学校対抗得点1点を獲得した。

登山競技は4人1チームで行われ、1日目はテントの設営など、山の知識を競い、2日目は重りを背負って山を走り、その順位を競う。結果は89・79点で4位に入賞した。

部長の長林郁弥さん（3年）は「目標のベスト4を達成することができたが、もっと頑張れたとも思っている」と振り返った。（長林）

バスケ部

目標の1回戦、突破する ベスト16で1点獲得

バスケット競技は5月9日、12日、山梨市民体育館をはじめとする各会場で行われ、バスケット部がベスト16に入り、学校対抗得点1点を獲得した。

1回戦、甲陵高校に67対54で勝利し、2回戦で日川高校と対戦し42対98で敗れ、ベスト16となった。部長の長田剛和さん（3年）は「総体では1回戦突破、そして強豪校相手に失点100点以下に抑えることができ、練習の成果を出すことができた。インターハイ予選では、1回戦、2回戦ともに手強い相手になるが、総体の反省を踏まえて、しっかり準備していきたい」と抱負を語った。（坂本）

激しくボールの奪い合いをするバスケット部員。（写真は写真部・岩崎泰河）

第73回
県高校総体

全力で挑んだ3日間

写真部激写　総体を振り返る

狙いを定めて、いざ蹴る
（撮影・久米田 萌）

勝負あり！（どちらが勝った？）
（撮影・吉澤愛玖）

1センチでも高く跳ぶ
（撮影・岩﨑泰河）

決まった瞬間
（撮影・吉澤愛玖）

前衛は俺に任せろ！
（撮影・奥石浩明先生）

空を飛ぶ
（撮影・久米田 萌）

一息
（撮影・岩﨑泰河）

編集担当

○記事担当
今村妃世里（3年）
長林宥弥（3年）
坂本優良（2年）
○写真協力
写真部
岩﨑泰河（3年）
久米田萌（3年）
吉澤愛玖（3年）
奥石浩明先生